

きんもくせい

病院だより

vol.74

令和元年
7月号



目指せ！

日本トップクラスの教育・研修病院
— 優秀な医療人を熱意を持って育てます —



昨年度、当院では医師臨床研修マッチングではじめてのフルマッチ（病院の募集に対し、当院で研修を希望する学生の数が増え、募集人数を上回る）を達成しました。今年度当院では17名の研修医を新たに迎え、指導医や上級医が熱意をもって教育・指導にあたっています。

宮地企業長兼院長が掲げる「よい教育なくしてよい医師育たず、よい医師なくしてよい医療できず、よい医療なくしてよい教育できず」をモットーに、職員一同、日本トップクラスの教育・研修病院を目指し地域医療に貢献してまいります。

◎7月上旬に、当院ホームページのリクルートサイトが完成予定です。教育・研修情報が満載です！ぜひご覧ください。

病院だより「きんもくせい」は、中東遠総合医療センター、掛川・袋井両市役所及び一部の市内公共施設にて無料で配布しております。

ホームページ <https://www.chutoen-hp.shizuoka.jp/>

過去の病院だよりをホームページでご覧いただけます。



〒436-8555

掛川市菖蒲ヶ池1番地の1

TEL 0537-21-5555



スマートフォン・タブレットからアクセスする際にはQRコードをご利用ください

バイ菌の病気

総合内科部長(科長)兼 臨床研修センター長
兼 AST長
伊藤 裕司

世の中には多くの病気がありますが、「感染症」にかかったことのない方はいないでしょう。感染症とは、バイ菌(様々な病原微生物)が体内に侵入し、増殖した結果として臓器の機能を低下させてしまう病気の集まりです。バイ菌の種類も多くありますし、1つのバイ菌でも冒す臓器が違えば、違う病名の感染症になります。

「風邪」という病気は、『ウイルス』というジャンルのバイ菌が喉や鼻などについて悪さをする病気ですし、「肺炎」という病気は、多くの場合に『細菌』というジャンルのバイ菌が肺について悪さをします。もちろんウイルスが頭の中で悪さをする病気(脳炎・髄膜炎)もありますし、『カビ(真菌)』というジャンルのバイ菌も存在します。

昨今、感染症が悪い意味で脚光を浴びています。現在世界で人が亡くなる一番の原因は悪性腫瘍ということになっていますが、現在のままでは2050年までに「薬が効きにくいバイ菌(耐性菌)による死亡が悪性腫瘍を上回る」という試算がされています。感染症の原因であるバイ菌が他の人に移っていくことで、耐性菌も世界中に広がってしまうことが懸念されているのです。これら感染症が起きた時に使える武器である抗菌薬・抗ウイルス薬・抗真菌薬が効かなくなると、治療ができなくなったり、治療の選択肢が狭くなるために治療しにくくなる可能性があります。場合によっては耐性菌であったために命を落とす患者さんもいるかもしれません。

耐性菌はどうやって作られてきて、どうしたら少しでも作られなくなるのでしょうか。実は市民の皆さんの協力がとても大切になるのですが、詳しいお話は8月31日(土)に当院で予定しています医療市民講座にぜひご参加いただき、一緒に勉強しましょう。



昨年度結成!

AST(Antimicrobial Stewardship Team):抗菌薬適正使用支援チームのご紹介!

国のAMR(耐性菌)対策を推進するために、医師、薬剤師、検査技師、看護師で結成しました。

病院には「感染症」にかかっている又はかかりやすい患者さまが大勢います。抗菌薬を使う機会を本当に必要な時だけに絞り込み、必要のない時は使わないことが薬剤耐性菌対策にはとても大切です。私たちは抗菌薬が正しく使用され、適切な感染症治療が行えるように支援していきます。



微生物検査中の検査技師



ASTメンバー
(前列中央が伊藤裕司医師)



薬物濃度を算出中の薬剤師

医師異動のお知らせ

6月1日付 採用

耳鼻いんこう科

こんどう はるき
近藤 玄樹 医師

よろしくお祈いします

5月の 診療実績

1日あたりの患者数		
入院	423人	
外来	1,292人	
紹介	率	80.9%
逆紹介	率	109.9%
病床	利用率	84.5%
平均	在院日数	10.2日
手術	件数	365件
救命救急センター	受診者数	1,849人
救急	搬送件数	460件

暑い夏を乗りきろう！熱中症対策

例年、梅雨明けから8月をピークに、熱中症の発症数が急増します。時間帯は正午から午後3時くらいまでに発症することが多いです。

熱中症は、高温多湿な環境に長くいることで、体内の水分や塩分のバランスが崩れ、体の中の熱が放出されなくなってしまう状態です。軽症ではめまい、頭痛、吐き気、倦怠感などの症状が現れ、重症になると意識障害が起こり命に危険が生じることもあります。

予防が大事

- こまめに水分と塩分を補給（スポーツドリンクでも可）
- 屋内ではエアコンや扇風機で温度調整
- 屋外では日傘や帽子を使って直射日光に長時間当たらない
- 通気性、吸水性、速乾性のある衣服を着用
- バランスの良い食事や十分な睡眠



応急処置

- 涼しい場所に移動（高温多湿を避ける）
- 体の熱を放出できるように衣類をゆるめ体を冷やす
- 意識がある場合は水分、塩分を補給（市販の経口補水液など）
- 自分で水が飲めない場合は医療機関を受診



体調に少しでも異変（意識状態や集中力の低下・ふらつきや失神・生あくびなど）を感じたら、すぐに涼しい場所で休んで水分補給と経過観察をしましょう。それでも症状が続く場合には医療機関に相談してください。

「高校野球トレーナーサミットin横浜」に参加して

リハビリテーション室 理学療法士 甲賀 英敏

5月19日、横浜で開催された「高校野球トレーナーサミット」にシンポジストとして参加する機会をいただきました。全国規模で高校野球に携わるトレーナーが集う会の開催は初めてで、私は静岡県高校野球連盟メディカルサポート部長と、チームに帯同するトレーナーの立場から今までの経験や今取り組んでいること、そして、高校野球という真剣勝負の場に携わるものとしての心構えについて発表し、多くの方々とディスカッションをしました。

高校野球に携わる理学療法士やトレーナーは、専門知識や技術はもちろんのこと、選手やチームのために献身的に時間を費やし努力するという「人のために尽くす」気持ちがあれば務まりません。人のために尽くし、人の幸せを支援するという気持ち、そうした行為に喜びと誇りを持ち、相手の成長や進歩を手助けするという精神＝「トレーナースピリッツ」を持つことが大切であると考えております。選手をサポートする者として、困っている選手、悩んでいる選手を助けるために勉強しよう、努力しようというスピリッツを持って、自己啓発し続けていきたいと思えます。

高校球児が輝く暑い夏がはじまります。どうぞ、選手にあなたのご声援をお願いいたします。



高校球児のメディカルサポートをする様子

東海アクシス看護専門学校 オープンキャンパスを開催します

日時 7月28日(日)

①9:30～12:00 ②13:30～16:00

会場 東海アクシス看護専門学校

内容 概要説明、体験発表、模擬授業、施設見学、在校生との懇談会など

対象者 同校入学希望者(保護者同伴可)

申込み 7月19日(金)までに、参加希望時間(午前・午後)、氏名(ふりがな)、居住地(市町名)、電話番号、学校名・学年、職業、同伴者人数を電話、FAXまたは学校ホームページでお申し込みください。各回とも定員制のため申込受付は先着順。

問合せ 同校 総務課

電話 0538-43-8111、FAX 0538-43-8122

URL <https://axis-ns.jp/>

草取りをして いただきました!

5月9日、掛川ライオンズクラブ(岡崎毅会長)の皆さんが、当院南西側にあるビオトープ広場の草取りをしていただきました。

同クラブがボランティアで毎年続けている活動で、当日は草刈り機や鎌などを使い、約1時間、汗を流しながら作業していただきました。広場が美しく生まれ変わり、植えられた菖蒲がきれいに見えるようになりました。

同クラブの皆さんありがとうございました。



草取りに励むライオンズクラブの皆さん

■受付時間:午前7時45分~11時00分
■診療時間:午前8時30分~
■緊急手術や学会等への出席のため、急に休診となる場合や担当医師が変更となる場合があります。

2019年6月17日情報

Table with columns: エリア, 診療科, 診察室, 月, 火, 水, 木, 金, お知らせ. Rows include various medical departments like 整形外科, 外科・消化器病センター, 循環器内科, etc.

※(初):初診、(再):再診、(予):予約、(紹):紹介 ※午後は予約のみ
□入院患者さんへの面会時間 平日:午後1時~午後8時 土、日、祝日:午前11時~午後8時